

計算物理春の学校2025 ポスターセッション

場所 : 沖縄県市町村自治会館
日時 : 2025年 3月12日 15:00-18:00

ポスター番号	氏名	ポスター発表タイトル
1	Benjamin J. Choi	Machine Learning-based Estimation of the Cumulants of Chiral Condensate using Gradient Boosting Decision Tree Regression
2	服部 智大	量子アニーリングマシンにおける縦磁場追加の効果
3	堀池 由朗	量子 Ising ダイナミクスと相互作用ネットワーク
4	足羽 美海	ハロゲン化炭化水素の異性体に関する陽電子化合物の系統的解析
5	小川 怜恩	制約充足量子アニーリングにおけるXYモデルのグラフ構造の近似解に基づく 決定手法
6	西山 颯大	Effect of Feature Learning on the SGD Dynamics of Two Layer Neural Networks
7	松浦 修大	Tensor cross interpolationと弱結合展開による量子不純物問題の解析
8	増田 伊吹	モジュラリティ最大化に基づいた線形次元削減手法
9	小川 涼	組合せ最適化のためのfactorization machine構築に適した整数・バイナリ変換方法
10	寺西 愛斗	Majorana Cooper-pair boxを用いた人工的な量子スピン系の設計
11	岡部 理子	線形等式制約に対する変数削減手法の量子アニーリングにおける性能評価
12	今村 宗一郎	Parallel Gradient Estimation of Parameterized Quantum Circuit
13	桑原 柊汰	ワニエ関数に基づくコヒーレントポテンシャル近似の実装と磁性合金への適用
14	菅原 翔太	二量子ビットゲート量子回路へのツリーテンソルネットワークの埋め込み
15	梶原 葵	トポロジカルスピネクスタチャによるスピン流生成
16	北野 鵬志	テンソルトレイン・古典リウヴィル方程式の化学反応系への適用
17	御代川 克輝	Ab initio計算に基づく電子スピン格子緩和ダイナミクス
18	渡辺 朗	反強磁性体におけるスピンポンピングの微視的理論
19	立田 結希菜	量子近似アルゴリズムにおけるグラフ頂点彩色問題とMAXCUT問題の求解
20	星 佑人	ルドルスデンポッパー型パラジウム化合物におけるs±波超伝導 の可能性に関する理論研究
21	石井 敬直	開放量子多体系のNISQシミュレーション
22	牛尾 賢生	二層系常圧超伝導薄膜La3Ni2O7の理論研究
23	東野 希	多バンド上の最低ランダウ準位とエニオン生成に対する数値的研究
24	神田 修平	一次元鎖モデルにおける表面効果
25	高橋 幸一郎	ノンシモーフィック共線型反強磁性体MnTeの対称性と最小ハミルトニアン
26	田中 尚岳	Julia言語を用いた超伝導シミュレーションシステムの検討
27	櫻井 恒輔	交替磁性体NiF ₂ のX線磁気円二色性スペクトルにおける交替磁性と強磁性成分の分離法の理論提案
28	用松 大希	次近接相互作用のあるS=1/2XXZ鎖におけるGaussian固定線とsl ₂ ループ代数
29	関 欣也	乱れない量子 breakdown 模型:厳密解とダイナミクス
30	齊藤 巧磨	MPSによるabelian dipole SPTの分類
31	高野 天音	マイクロ粒子の円偏光駆動回転についてのフロッケエンジニアリング
32	野崎 幸成	Sparse Autoencoder を用いたAlphaFold2の内部動作の解析
33	濱田 雄大	Adjoint fermionを導入したTwisted Eguchi Kawai模型について
34	横山 貴之	フラックス中の量子スピン系における異常なmagnetic catalysis
35	野添 海人	デザイン可能となる左巻きβαβモチーフの条件の拡張
36	上野 和雅	雲粒衝突併合計算における量子計算活用
37	田耕 健也	量子スピン系におけるマルチトレース測度
38	岩崎 哲也	1次元 Hubbard 模型における非線形 Drude 重みの解析

39	渡邊 悠稀	離散的な周期駆動を受ける古典確率過程の解析
40	矢口 真那斗	拡散モデルの相転移現象を幾何学的に解き明かす
41	中川 祐希	表現論によるバーンサイドの定理の証明
42	緒方 拓巳	${}^6\text{Li}$ 原子核殻模型における量子計算
43	小林 丈太郎	1イオン異方性をもつ $S=1$ XXZスピン鎖とマグノン対励起
44	池上 草玄	Multipole Orders and Quantum Spin Liquids in $S=3/2$ Quantum Spin Models
45	大島 巧	テンソルネットワークを用いたボピュレーションアニーリング
46	三輪 涼雅	Flude-Ferrell-Larkin-Ovchinnikov超伝導状態のスピン応答による観測可能性
47	岡田 夏希	電子格子結合に基づくフラーレン超伝導体のスピン軌道物性
48	須田 亮介	大規模言語モデルに「もっと」理論物理をやってもらいたい話
49	金賀 穂	トポロジカル不変量の数値計算を支援する Julia パッケージ: TopologicalNumbers.jl の紹介
50	石田 哲朗	組み合わせ最適化問題における量子生成モデルの応用
51	太附 孝輔	多軌道模型を用いた逆ファラデー効果の微視的理論
52	佐藤 航平	格子QCDが切り拓く中間子荷電半径の高精度な決定
53	伊藤 侃	高解像度ボルツマン輻射輸送に向けて
54	岡崎 晃一	Floquet-Bloch状態を用いた定常波中の運動
55	山下 恵理香	LHC-ATLAS 実験における LSPとスタウの質量差の小さい領域における dileptonicチャンネルを用いたスタウ探索感度の評価
56	山下 涼介	iTEBDによるマルチフェロ磁性体の非線形光学効果の解析
57	Lee Taeho	ハイペロン混合を考慮に入れた状態方程式を用いた中性子星構造の数値的研究
58	館田 麻寛	Compressible Liquid Drop Modelを用いた中性子星内殻構造の研究
59	古賀 幸太郎	多体トンネル現象を記述する虚時間発展法の実現に向けた軸対称Skyrme Hartree-Fock コードの開発
60	前田 卓玖	強磁場下でのボトムバリオンの質量スペクトル
61	中根 義人	線形シグマ模型を用いたベクトル中間子と軸性ベクトル中間子の質量スペクトルの研究
62	内山 晴貴	拡散モデルに基づく素粒子のフレーバー構造の探索
63	森下 響	AlphaFold2とドッキングシミュレーションで生成された テンプレート構造を用いたペプチド-タンパク質複合体の構造予測
64	神原 龍冬	光2重イオン化されたOCS分子の解離ダイナミクスと隠される反応経路
66	清水 陽喜	Complex entanglement entropy for complex conformal field theory
67	黒田 直也	Theoretical study of the enhancement of parity-violating effects in chiral molecules
71	佐藤 嶺	
77	猪俣 和樹	任意形状ツリーテンソルネットワークの量子回路への埋め込み手法
78	田中 晃	
79	矢作 裕太	
80	福島 誠人	
81	関 祐二	
82	阿江 伸太郎	
83	室田 佳亮	Avoid Barren Plateaus and Minima: Adiabatic Encoding of MPS-Classifer into Parametrized Quantum Circuit
86	富谷 昭夫	格子QCD向けのトランスフォーマーの開発